



かみさと 議会だより

平成28年6月

No. 71

■発行／上里町議会 ■編集／議会だより編集委員会 〒369-0392 埼玉県児玉郡上里町大字七本木5518番地 TEL.0495-35-1216(直) FAX.33-2429



神流アカシア会による烏川河川敷のポピーの植栽



三軒地区ロードサポート事業による県道の花壇の手入れ



一丁目水辺のサポーター「親水会」による町道の花いっぱい運動

町民ボランティア団体による環境美化運動



上里町マスコットキャラクター
こまぎっち

もくじ

- 3月定例会・5月臨時会の状況……P2～5
- 一般質問 ……………P6～15
- 6月定例会一般質問、議会日誌等 ……P16



5月臨時会

5月2日

■議長に納谷 克俊議員、
副議長に猪岡 壽議員を選出
■各常任委員、議会運営委員の選出と正副
委員長を互選

5月2日に臨時会が召集され、議長選挙、副議長選挙、常任委員・議会運営委員の選任及び町長提出議案を審議しました。

◎議長選挙（投票）

納谷克俊	11票
高橋 仁	2票
沓澤幸子	1票



議長就任あいさつ

5月2日の臨時会において議員各位のご推挙により議会議長に就任致しました納谷です。上里町議会の代表としての職責を与えられ、責任の重さを痛感しているところであります。2年前の改選の後、インターネットによる一般質問の録画配信を導入したところでありますが、今後更なる情報発信や町民の皆様との対話に努め、より身近で開かれた議会を目指していく所存です。

また、行政に対するチェック機能や立法機能をはじめとする議会本来の権能を十分に発揮し、皆様の付託に応

えるよう、また、町政の更なる進展のために公正かつ円滑な議会運営に努めてまいりますので、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

◎副議長選挙（投票）

猪岡 壽	11票
沓澤幸子	1票
戸矢隆光	1票
仲井静子	1票



副議長就任あいさつ



このたび5月2日の臨時会におきまして、議会副議長の任務を仰せつかった猪岡です。議員3年目で副議長は、まだまだ経験不足ではあります。上里町のため、住民のため誠意努力し任務を遂行する所存ですので、ご

支援、ご指導のほどお願い申し上げます。

これからの自治体の課題は少子高齢化による人口減少問題をいかに解決し、人口減少に歯止めをかけるか。それと国と地方合わせた1千兆円を超える赤字財政の健全化を図ることが重要な課題となります。

上里町は幸いにして、災害の少ない安全な町であり、高崎線と関越道上里スマートインターが存在し、交通アクセスには大変恵まれた地域でありますので、PR次第では人口減少を食い止める事が出来るかと確信しています。

また財政健全化については歳入の内自主財源比率を高め、借金の比率を低くすることが必要なのではないかと思えます。上里町を守り、発展させるためこれらの課題に全力投球する所存です。

条例関係

◎専決処分の承認を求めることについて

○条例の改正を3月31日に専決処分したので、その承認を求めます。

※審議結果 承認

◎専決処分の承認を求めることについて

○国民健康保険税条例の改正を3月31日に専決処分したので、承認を求めます。

※審議結果 承認

◎専決処分の承認を求めることについて

○固定資産評価審査委員会条例の改正を3月31日に専決処分したので、承認を求めます。

※審議結果 承認

◎監査委員の選任について

○議会選出の監査委員である納谷克俊議員が、平成28年5月2日をもって退職したことに伴い、新たに高橋正行議員を監査委員として選任するものです。

※審議結果 同意

上里町議会構成表

平成二十八年五月二日 現在

議長 納谷克俊
副議長 猪岡 壽



総務経済常任委員会

委員					副委員長	委員長
納谷克俊	飯塚賢治	植原育雄	植井敏夫	沓澤幸子	新井幸子	戸矢隆光



議会運営委員会の様子

文教厚生常任委員会

委員					副委員長	委員長
猪岡 壽	岩田智教	高橋正行	高橋 仁	伊藤裕	仲井静子	齊藤 崇

議会運営委員会

委員				副委員長	委員長
飯塚賢治	沓澤幸子	高橋 仁	伊藤裕	岩田智教	植原育雄



3月定例会

3月4日～18日

■平成28年度一般会計・特別会計・企業会計の当初予算を可決

■行政不服審査法の改正に伴う関係条例の整備に関する条例について可決

3月定例会は、3月4日に開会され、一般質問10名や平成28年度当初予算を中心とする町長提出議案及び承認30件や議員提出議案1件等を審議して18日に閉会しました。3月定例会で審議された内容をお知らせします。

条例関係

○地方公務員法及び地方独立行政法人法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例について

○地方公務員法等の改正により、関係する条例の一部を改正するものです。
※審議結果 原案可決

○行政不服審査法の改正に伴う関係条例の整備に関する条例について

○行政不服審査法の改正により、関係する条例の一部を改正するものです。
※審議結果 原案可決

○職員の給与に関する条例及び一般職の任期付職員の

採用等に関する条例の一部を改正する条例について

○人事院勧告及び埼玉県人事委員会勧告に準じ、改正するものです。
※審議結果 原案可決

○町長及び副町長の給与等に関する条例及び教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例について

○町長、副町長及び教育長の期末手当を改正するものです。
※審議結果 原案可決

○議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について

○議会議員の期末手当を改正するものです。
※審議結果 原案可決

○議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例について

○地方公務員災害補償法施行令の一部改正に伴うものです。

※審議結果 原案可決

○町民福祉センター設置及び管理条例の一部を改正する条例について

○コミュニティセンターと中央公民館の複合化に伴い、コミュニティセンター定期貸出スペースの代替として町民福祉センターの福祉ホールを利用するためです。
※審議結果 原案可決

○行政不服審査会条例について

○行政不服審査法の改正に伴い、設置が義務付けられている行政不服審査会を設置するため、審査会の組織及び運営について規定するものです。
※審議結果 原案可決

○いきいき福祉基金の設置、管理及び処分に関する条例について

○町の地域における保健福祉の推進を図るために実施する事業に要する経費の財源に充てるため、基金を設置するものです。
※審議結果 原案可決

◎ 議会委員会条例の一部を改正する条例について
 ○ 課設置条例の改正に伴うものです。
 ※ 審議結果 原案可決

その他

◎ 埼玉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び同組合の規約変更について
 ○ 草加八潮消防組合の加入、皆野・長瀬下水道組合の名称変更に伴い、埼玉県市町村総合事務組合規約を変更することについて協議するものです。
 ※ 審議結果 原案可決

財産の取得について

◎ 児玉都市計画緑地1号上里町烏川・神流川総合運動公園（上里ゴルフ場）整備事業のためです。
 ※ 審議結果 原案可決

専決処分関係

◎ 専決処分の承認を求めることについて
 ○ 税条例の改正を12月28日に専決処分したので、その承認を求めるものです。

※ 審議結果 承認

◎ 専決処分の承認を求めることについて

○ 国民健康保険税条例の改正を12月28日に専決処分したので、承認を求めるものです。
 ※ 審議結果 承認

道路線廃止・認定

◎ 道路線の廃止について
 ○ 土地改良事業の施行完了に伴い廃止するものです。
 ※ 審議結果 原案可決

道路線の認定について

○ 開発行為による位置指定道路及び道路用地の寄付採納に伴うものです。
 ※ 審議結果 原案可決

補正予算関係

◎ 27年度一般会計補正予算
 ○ 歳入歳出それぞれ3億4607万3千円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ90億5407万4千円とするものです。主な歳出の補正内容は次のとおりです。

・ 減債基金積立金	1億円
・ 財政調整基金積立金	1億1325万5千円
・ 年金生活者等支援臨時福祉給付金支給事業	8801万9千円
・ 法人立保育所等運営委託事業	4661万2千円
・ 多子世帯保育料助成事業補助金	730万2千円
・ 子どものための教育・保育給付事業	661万9千円
・ 国民健康保険特別会計繰出金	1億2666万1千円

※ 審議結果 原案可決

■ この他に、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、農業集落排水事業特別会計、水道事業会計、下水道事業会計の補正予算が提出され、原案のとおり可決されました。

■ 平成28年度一般会計、特別会計、企業会計の7会計を慎重審議のうえ可決しました。なお、予算の概要については、「広報かみさと4月号」に詳しく掲載してありますので、省略いたします。

平成 28 年度一般会計・特別会計予算集計表

(単位：千円)

区分	会計名	28年度予算額	27年度予算額	増減率
一般会計		8,834,500	8,220,995	7.5%
特別会計	国民健康保険	3,887,672	3,846,796	1.1%
	介護保険	1,606,854	1,641,098	△2.1%
	後期高齢者医療	222,914	215,688	3.3%
	農業集落排水事業	13,164	11,881	10.8%
企業会計	水道事業	984,849	920,917	6.9%
	下水道事業	477,168	503,443	△5.2%

※ 水道事業及び下水道事業は、収益的と資本的支出の合計額です。

陳情の審査結果

件名	提出者	審査結果
安全保障関連法の廃止についての陳情について	本庄・児玉郡市地域労働組合連合会 議長 新島善弘	不採択

一般質問



議席番号 5番 齊藤 崇

問 埼玉県で最も低い上里町の合計特殊出生率（1.05）を何年後にどの位の改善を見込んでいるのか

答 町が目標としているのは、平成31年に1.25まで引き上げたい

1 町の人口抑制に対する施策について

（問）人口減少の要因として、若者が雇用を求めて東京圏へ流出、晩婚化、非婚化、少子化が考えられるが、本町ではどのような施策を打ち出して企業を誘致しようとしているか、また若者の定住促進策は。

（答）今後の人口減少に歯止めをかけ、将来にわたって地域の活力を維持し、安心安全で暮らしやすい町づくりを進めるため、平成27年度から5年間を計画期間とする「上里町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、公表する見込み。また若者の転出超過を解消することと、合計特殊出生率（1.05）を向上させ

ることが喫緊の課題であると認識し、総合戦略により平成31年に1.25まで引き上げる幅広い施策を打ち出した。

（問）晩婚化、非婚化、少子化について、総合的に行政が取り込むこととして、若い世代の経済的安定、経済的負担の軽減、職場環境の整備等が肝要と思われるが。

（答）若者に対する雇用の確保が必須であることから立地条件のよさをアピールし、企業誘致を推進して経済的安定を図りたい。少子化対策については、総合戦略における子育て施策、いわゆる「こむぎっち子育てサポート事業」として、子育てをする親に対し幾つもの方面からトータル的に支援をし

ていく。また平成28年度当初予算に計上した新規事業の乳幼児に対するおむつ等購入助成補助金や継続事業の多子世帯保育料軽減事業などは、子育て世代の家計を支援していくもので直接的に負担軽減を感じて頂けるものと考えている。

2 超高齢化が猛スピードで進んでいる町の対策について

（問）2025年問題、団塊の世代が一齐に75歳を迎え後期高齢者となり、介護や福祉分野の需要が増大しプラス成長を続けることが困難になり、医療・介護費の増加で財政破綻が考えられるが。

（答）平成27年度から3カ

年で策定された第6期高齢者福祉計画・介護保険事業計画では、平成37年の町の高齢化率を30.0%と推計、高齢化の進展は、年金・医療・介護などの社会保障支出の増大を招き、安定財源の確保と財政健全化を同時に達成するための取り組みが必要と思う。

町では今年度「上里町健康づくり推進総合計画」を策定し、子どもから高齢者まで全ての町民が共に支え合い希望や生きがいを持ち、ライフステージに応じた健やかで心豊かに生活できる社会を目標とする健康づくり活動に取り組んでいく。なお、町では「自分の健康は自分で守る」「自分の健康を高める取り組み」として平成27年

9月から埼玉県のモデル事業の介護予防筋力アップ体操を行っており、4つの行政区で週一回取り組んでいる。この体操は「こむぎっちちょっくら健康体操」と名づけ効果検証もされているので今後も重点的に取り組む必要があると感じている。



こむぎっち ちょっくら健康体操

一般質問



議席番号
3番 仲井 静子

問 コミュニティバス運行の利用者へのサービス向上について

答 公共交通の基本的な考え方「公平なサービスを提供する」を踏まえ、運行事業者と連携し、最大限の配慮をもって「コミュニティバスの運行を今後とも進めていく

1 バス停留所にベンチ設置を

(問) バスの利用者は、本数の少ないバスに乗り遅れてはいけなと、発車時刻より早めにバス停留所に着き待機している利用者も多いはず。夏は猛暑、冬は冷たい空っ風、日よけ寒さよけもないバス停留所では、特に高齢者や子ども達が体調を壊し倒れないか心配。駅、大型商業施設前、公共施設前など、他にも設置できるスペースが有る場所にはベンチを設置できないか。

(答) 大型商業施設や公共施設は、施設の協力を得、施設内にベンチ設置や施設の一部を待合室として利用できるよう働きかける。又、県で取り組んでいるバス停留所近くにある商店、コンビニ、金融機関や公共施設などを対象にバスが来るまで気軽に待てる施設として登録する「バ

スマチスポット」制度を活用することも考えている。



滑川町役場前のバス停留所

2 中央ルートの安全確保について

(問) 福祉仕様の車両で、車椅子に乗ったまま降り可能との事ですが、車椅子生活者の意見を聞きましたか。バス停留所の現場を見て頂きましたか。バスを利用する

高齢者や障害者の転倒が心配です。
(答) コミュニティバスを多くの方に利用して頂くには、ルートの設定やバスの整備はもちろん、利用者への配慮も必要。マイクロバスとワンボックス、いずれも車椅子の方が利用できるリフトが装備されている他、乗降する際の手すりの設置や乗務員による利用者への配慮なども徹底して行っている。

3 コミュニティバス運行の住民への周知について

(問) パンフレットを配布し、町民へお知らせする方法と町の職員が各行政区や団体へ声かけし、同行し一度試乗体験して頂くのがよい。また、コースの大幅な変更は、目的の地によっては乗継しなければたどり着かない。コースを理解して頂く為にも乗っていただき利用者の声を直接聞き、改善すべき点

は改善しより良いものにして行くべき。

(答) 各団体への周知として区長会、民生委員・児童委員協議会などの会議の場をお借りし、コミュニティバス利用方法など御説明させて頂く。今後老人クラブ等各団体への説明も積極的に行う他、実際利用された方の意見をいただくOD調査や利用状況調査も行う。今後ともあらゆる機会を捉えて引き続き情報発信を行う。

4 上里町まち・ひと・しごと創生総合戦略について。出合いの結婚の支援について

(問) 創生総合戦略基本目標3、「若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶える」の中で、出合いと結婚の支援を進めていくと戦略をたてた。どこの自治体も、過疎化や税収減に直結する為、強い危機感

をもってしているので自治体自ら結婚相談事業を担うケースが増えてる。県では平成27年度の新たな取り組みとして「SAITAMA婚活コミッション事業」を始めました。

(答) 婚活パーティーも含め結婚相談事業がより良いものになるよう町として助言・協力を行う。婚活に関する情報発信をし、若者の出合いの場を広げる努力をする。

(問) 農業青年会議所会員が中心となって児玉郡市農婚イベントを企画。農家の担い手確保と言う事で若者が取り組んでいますので、独身男女の出合いのきっかけづくりの支援をして頂きたい。

(答) 農業青年と結婚していただければ農業の担い手確保、大変良い企画、主催者から要望があれば郡市内の他市町と協議をしていく。

一般質問



議席番号
9 番 納谷 克俊

問 三田中通り線周辺の雨水排水対策の実施を

答 道路整備と一体的に進める必要があり、具体的な時期や手法について検討したい

1 道路整備と雨水排水対策について

(問) 都市計画道路三田中通り線の用地買収の割合と今後の整備予定について。

(答) 用地取得率は約70%となっています。

雨水排水対策との一体的な整備が必要となっており、具体的な整備予定を定める状況に至っていないのが現状です。

(問) 都市計画道路古新田四ツ谷線と三田中通り線の交差点は住民の方から危険であるとの指摘を頂いていますので早急に信号機を設置していただきたい。

(答) 県警との交差点協議の結果、歩道の未整備区間の状況や三田中通り線との暫定的な交差形状を理由に、現段階で信号機を設置できる条件が

整っていません。

状況を改善するため、歩道の未整備区間の用地取得に当たっては引き続き対応していきたいと考えています。

(問) 三田中通り線周辺は平成23年の台風12号の大雨により周辺の店舗や工場、住宅が浸水するなど大きな被害が発生しました。また、激しい夕立のときには道路が冠水してまいります。

本庄市との協議の上、一部本庄市側へ道路側溝を接続することは出来ないか。

(答) この地域は元小山川まで雨水排水管などの整備が必要になっていますが、JR高崎線を横断するなどの課題があり、また本庄市管理の雨水管への接続なども容量的な制限もあり、具体的な整備に至っていないのが現状です。

(問) この地域には開発行為による調節池等が点在していますが、十分に機能しているのか調査はされているのか。

(答) 長年の土砂の堆積等により排水機能が十分に発揮できていない箇所等もあることから平成28年度当初予算で堆積土砂の撤去等を計上し、改善に努めています。

(問) 社会資本整備総合交付金事業に該当するように工夫をして三田中通り線の整備と併せて道路内に雨水浸透施設、また雨水貯留管を整備することを提案する。

(答) 雨水排水対策の有効性などを踏まえ、交付金事業の活用、計画的な財源の確保などの措置を念頭に、具体的な時期や手法について検討していきたいと考えています。

雨水浸透・貯留施設イメージ



福岡市ホームページより

2 農村公園整備事業について

(問) 農村公園整備事業の事業方式及び今後のタイムスケジュールについて。

(答) 3月中旬にホームページで募集要項等の公表を行い、5月下旬に提出書類の

受付、6月中旬に選考委員会による提案書類に関するヒアリングを行い、6月下旬に提案者への選考結果の通知を予定しています。

(問) 開発事業者候補選考委員会と選考基準、選考過程について。

(答) プロポーザル方式により選考するに当たり、事業候補者を厳正かつ公平に選考するために設置しました。

委員は農村公園を整備する目的が、町の地域振興と農業振興であるという観点から選出しています。

提案内容の評価方法は提出書類の内容及びヒアリングの内容をもとに評価項目別に採点し、総合点が高い提案をした応募者から順に開発事業者候補を選考します。

一般質問



議席番号
14番 植原 育雄

問 上里町のマイナンバー制度について

答 マイナンバーカードの普及促進を図りつつ、
時期を見て更なる利活用を検討したい

1 上里町のマイナンバー制度について

(問) 平成28年1月から始まりました税と社会保障のマイナンバー制度は、国・自治体・民間のICT活用を進め国民にとって利便性の高い経済社会を建設していくことです。

町民の通知カードの受取り状況並びに個人番号カード交付希望者の状況及びマイナンバーカードの取得状況について。

(答) 通知カードの受取り状況ですが、町内全世帯の世帯主宛てに郵送し、2月24日現在では300通ほどが町民福祉課に保管されています。交付希望者の状況は2月24日現在では町民の約6%の1948名の方が交付申請されています。

請されており。マイナンバーカードの取得状況は、2月24日現在で109名の方が取得しております。
(問) マイナンバーに関する個人情報保護について。

(答) 町は個人情報の流出は決して起こしてはならないとの認識に立ち、対策を講じてきましたが、マイナンバー制度の導入に際し、更なる対策の強化の必要性を感じています。

(問) 町民に対する行政サービスの充実を図るためのマイナンバーカード活用のあり方や現場マニュアル類の整備について。

(答) 町は第一に正しく、完全に番号法で規定されている標準的な利用を開始しマイナンバーカードの普及促進を図りつつ、時期を見て

更なる利活用を検討したい。現場のマニュアル類の整備については、個人情報保護委員会のマニュアル類の整備等のガイドラインに従い整備していく予定です。

2 上里町の水道事業について

(問) 年々、無収水量(漏水量)は増え、有収率は低下している。早急な漏水対策について。

(答) 新設工事は、石綿セメント管や民地管の更新、自然漏水は地下式消火栓に流量メーターを設置し、夜間流量の多い地域の絞込みを行い、その地域内を集中的に路面音聴調査を実施するなど、新たな手法で効率的な発見に努める等、有収率向上のため、鋭意努力して参りたい。

3 上里町の交通安全対策について

(問) 上里スマートインターチェンジ1日の乗降車両について。

(答) 高速道路会社に確認した平成27年12月から翌年1月の平均的交通量は1300台で、多い日は2000台であり、今後、更に周知されれば乗降車両は伸びるものと期待しています。

(問) 上里スマートインターチェンジの「基本アクセスルート」に車両を流し、生活道路に通過交通が流れ込まないようという計画について。

(答) 民間企業や地元区長さんとも連携し、補助的な標識設置等により周知徹底を講じ、地域の円滑な交通と安全確保に努めて参りたい。
(問) 町内の大型車両の進入禁止道路と通行可能な道路について。

(答) 大型車両等、通行止め道路は、当該区間の直前だけでなく、当該道路を回避するために接続する道路へのネットワーク的な予告標識も必要で、標識設置にあたって改善を要する箇所等もあります。



上里スマートインターチェンジ

一般質問



議席番号 11番 沓澤 幸子

問 国の保育料負担軽減に上乗せして第2子の半額減免実施を

答

子ども2人世帯は48%と対象児が多く、実施には約2000万円が必要

1 子育て支援

(問) 70年代からの課題である少子化がとまらないのは、日本社会に蔓延している不安定雇用や低賃金など、若者が結婚し出産する生活状況にないことが原因であり、自治体だけでは解決できない問題と考えます。

なぜ少子化・出生率低下が止まらないのか、町長の見解は。

(答) 社会が高学歴化し、子どもに要する費用の増額、共働さや長時間労働と不安定雇用、核家族化で協力が得られない等、経済的・社会的要因が絡んだ悪循環が続いてきた。少子化対策は国の責任で抜本的に見直す必要がある、自治体の財政力で差異が生じることが好ましくなく、町も国に対し要望を行う。

(問) 町は将来の人口目標を高く掲げ、2060年に26,632人としています。課題は町の子育て支援策が子育て世代の希望とマッチするかどうかです。保育料の算定変更と年少扶養控除のみなし適用の廃止により保護者の負担増がありました。16年度から国が実施する年収360万円未満世帯とひとり親世帯の保育料無償化に合わせ、町も上乗せして第2子の保育料軽減を実施し、希望する2人を産み育てられる手立てを求めます。

(答) 保育料の算定変更にあたり、公平な負担になるよう階層区分を18から21に細分化した。年少扶養控除の廃止を考慮し、最大影響額を月1万円の範囲内に調整した。

保育所入所家庭全体では、子ども2人世帯は29.4世帯48%と対象児が多く、軽減対

象を拡大するのは財政状況からも慎重な検討が必要です。第2子目の2分の1軽減を所得制限なしで実施した場合約2千万円が必要です。



元気に遊ぶ園児たち

(問) 町の放課後保育定員は365名ですが、東小地域では前年も待機児童が発生しています。今年度はどうか。新しい補助制度を利用し空き屋の改修や、民間学

童の家賃補助を増額し、約2倍の保護者負担の公私格差を無くすなど、待機児解消策が必要では。

(答) 児童館の放課後児童クラブは利用希望が多く、東児童館は慢性的な待機問題がある。平成29年度に東小地区に民間クラブを1園開園の協議を行っている。今年度の放課後児童クラブの入所状況は、東19名、長幡12名、神保原14名が保留です。公私格差の解消に向けて今後努力したい。

2 介護保険の現状

(問) 「新総合事業」は全国的に2017年4月までの実施が困難とされる中、町は3月から、5事業所で緩和した基準のサービスが開始されます。緩和には基準があるのか。ボランティア

の登録状況と課題は。
(答) 緩和したサービスでは、職員は1人置くのが原則で、その他はボランティアです。ボランティアは5日間約10時間の生活支援サポーター養成講座を実施し、35名を要請している。

(問) 国の第7期介護保険制度改定の中、要支援に続き要介護1・2認定者も介護保険給付から外す議論など、予防重視から中・重度者対象に向かっています。アベノミックスの3本の矢「介護離職ゼロ」は実現できると思いますが。

(答) アベノミックスの3本の矢の実現は不可能ではないかと思うが、少しでも近づけるよう努力をして頂きたいと考えている。

一般質問



議席番号
1 番 飯塚 賢治

問

のびっ子教室の拡充の考えは

答

子ども達に教える方の充実が図れるよう努力したい

1 魅力ある学校づくりについて

(問) 新中一生徒の不安感を取り除くため全国では、小中連携した対応策が講じられている学校もあるが、上里町の取り組みは。

(答・教育長) 一年生で不登校生徒は平成27年度3人、26年度5人、25年度は2人、すべて2学期以降である。取り組みとして学校内見学、保護者対象の親の学習などを実施。教員の取り組みは、中学の生徒主任が小学校へ行き、生徒指導上の連絡調整役として対応。年間3回小中連絡会を設け、授業参観を行っている。

(問) いじめは、ふだん何気ないところに要因がある。発見しにくいいじめに対して先行事例等があつて各学校で紹介はなされているか、また未然防止対応策はあるか。

(答・教育長) パソコンやスマホを使用したメールやLINEのやりとりで誹謗中傷の書き込み、ネットいじめの報告はある。県が各学校で取り組みをまとめた実践事例を各学校に配布している。ネットいじめ未然防止対策として児童生徒や保護者向けに講演会を開催。道徳などの授業でネットマナーについて指導をしている。上里町でもPTA連合会や校長会が連携しインターネットの活用について子ども達への呼びかけや家庭での約束に関し、現在検討を進めている。

(問) 最近では、夫婦共働きの家庭が多く見られる。のびっ子教室の希望が多く抽選になつている。総合戦略で示す子育てしやすい環境づくりの面からも拡充の考えは。

(答・教育長) 教育委員会では、

のびっ子教室をより充実させるため、今後サポーターの人数拡充を行うとともに、参加児童の学力アップにつなげられるよう、サポーターの皆さんと相談しながらプログラムの検討を進めていきたいと考える。

(答・町長) 子ども達に教える方の充実が図れるよう努力していきたい。



のびっ子教室

2 通学路の見直しと整備について

(問) 来年度は総点検を行うと伺うが、見守り隊を初めとする通学に携わる皆様からの意見を聴取していただけないか。

(答) 平成28年度は、第4期地区通学路整備計画策定年度になる。通学の見守りに携わる関係者等からの聞き取りを踏まえて通学路の総点検を行い、児童生徒がより安全に登下校できるよう整備計画を策定してまいりたい。

(問) 来年度の総点検の折、通学時の危険箇所の整備状況が一目でわかるように周知することによって児童生徒また保護者の皆様も安心安全を感じられるのではないか。

(答) 未整備箇所や対策の進捗状況について、わかりやすく情報提供してまいりたい。町としては、大切な児童生徒の安全確保

は、優先的な課題であると考えられる。通学路整備計画に位置づけられた箇所以外の危険箇所もできる限り速やかに改善に努めている。

3 町の公式ホームページのリニューアルについて

(問) リニューアルに向けて町民の皆様が興味を引くものを導入願いたい。町民の皆様の健康チェックに役立つツールや子ども達が開きたくなるページを製作願いたい。

(答) リニューアルの内容として主に利便性の向上に軸足を置くが、魅力ある機能の充実についても検討が必要と考える。健康チェックの導入という新たな視点を取り入れることは、受診率向上のため重要と考える。子ども向けのトップページを作成し、こむぎっちを使ったコンテンツなどの検討も行っている。

一般質問



議席番号
2 番 戸矢 隆光

問 第5次総合振興計画の目標について

答 住みよい上里町を子どもたちや孫達の世代に受け継いでいけるよう検討していきたい

1 上里町総合振興計画について

(問) 第4次総合振興計画の成果と第5次総合振興計画の目標について

(答) 総合振興計画（以下総振）は町の進むべき方向と基本施策を明らかにするものであり、現在は平成19年に策定した第4次総振であり、町の将来像を「人と自然が響き合うハーモニーガーデン上里」と定め、総合的かつ計画的に町づくりを推進してきた。主な成果として上里サービスエリア周辺地区の企業誘致の実現、上里スマートインターの供用開始、こども医療費の中学三年生終了時まで拡大、健康づくり推進総合計画の策定、神保原駅南土地

区画整理事業の完了や都市計画道路古新田四ツ谷線の供用開始、小中学校の耐震化とエアコン設置、上里中学校の体育館を含めた改築事業など着実に施策を推進してきた。

平成29年度からの5次総振については現在庁内で検討が始まったところですが、平成27年度から計画期間とする上里町まち・ひと・しごと創生総合戦略会議に掲げた目標を勘案し、町の将来像を設計することになると考えており住みよい上里町を子どもたちや孫達の世代に受け継いでいけるよう社会・経済情勢の変化を確実に捉え、これまで築き上げた成果をさらに発展させる施策を検討していきたい。

2 子どもの虐待について

(問) 上里町の現状と課題について

(答) 児童虐待は学校、保育園や医療機関などの通報により発覚することが多く見

受けられ、町では虐待の早期発見や適切な保護、家庭への適切な支援を図るため児童相談所や民生委員・児童委員、学校などの関係機関で構成された上里町要保護児童対策地域協議会を設置し、要保護児童にかかる状況について情報の共有化や役割の確認、連携強化に努めている。近所からの通報は26年度8件、27年度1月末で5件となっており、状況に応じて速やかに家庭訪問を行ない児童の安否確認を行っている。小学校から

虐待の疑いがあるという連絡は4件あり、関係機関と連携し、学校職員を交えたケース会議を開いて状況把握を行ない、話し合い児童や保護者への支援を行った。

(問) 虐待についてはゲーム機の中での戦いなども影響しているのでは。これからの子どもがパソコンなどの電子機器を使えないのも困るがゲーム機のし過ぎもよくないのでは。

(答)・教育長 こどもの頃からゲーム機に大変慣れ親しんだ世代が大人になっていく。その世代の人たちが親として考えられないような事件を起こしている。これらを踏まえ学校では学校便りや各機会をとらえ、ゲーム機の使用時間などを減らし、読書をするなどの指導も現在行っている。中学校では9時

以降の携帯電話使用の自粛を呼びかけているところも出てきている。インターネットについてはゲーム機が内蔵されているものもあり、それらの使用のルール作りを上里町として進めているところであり、作成後については各家庭や子どもたちに呼びかけて行きたい。

虐待かも
と思ったら
いはやく
189番へ
189番にかけると
お近くの児童相談所につながります。
全国共通ダイヤルポスター

一般質問



議席番号 4番 猪岡 壽

問

スマートインターチェンジ周辺の道路整備について

答

県道整備と合わせ、計画を進めている

1 上里スマートインター周辺の道路整備について

(問) 昨年12月20日開通した上里スマートインターはネクスコの見込みでは、1日4300台の乗降量を見込んだ事業で上里町の総合戦略実現の大きな柱であるが、国道17号線や254号線へのアクセスが大変不便な状況である。よって乗降量も予定の3分の1に留まっているようだが。

(答) 国道17号へのアクセスは県道児玉新町線の道路拡幅と踏切改良が早期に実現するよう県に要望している。

(問) 下り線の工業団地誘致も道路アクセスを早急に改善しないと誘致が遅れるのでは。

(答) 企業誘致早期実現のためにも、一日でも早く交通ルートを完成させたい。



上里S Iからの案内標識

(問) インター開通により町の商業施設に経済効果をもたらすことが期待できるので町外の客が利用する主要な施設には、より丁寧な案内板の設置が必要では。

(答) 案内看板の設置は設置場所の用地確保や制約があり課題もあるが、利用者の意見や施設運営者と協議し、案内看板設置を充実させたい。

2 ふるさと納税制度の返礼品について

(問) 28年度より始めるふるさと納税制度で扱う返礼品の内容について。

(答) 寄付額1万円の場合は、5千円相当、寄付額3万円の場合は、1万2千円相当で消費税、送料等の経費込で地元特産の梨、米、牛肉、いちご、花、お菓子、豚まんなどを予定している。

(問) 最近では他県の自治体の特産品を返礼品として扱い、成果を上げている自治体もあるようだが。

(答) 町としては当面は町の豊富な農産物や特産品を返礼品として扱い、町を広くPRしていきたい。

3 こむぎつちを利用した町のPRについて

(問) 先日の新聞に埼玉県を日本一のうどん県にしようという記事が掲載された。埼玉県は香川県に次ぎ全国2位であり、「埼玉を日本一のうどん県にする会」では、フェイスブック等でPRして日本一を目指すようだ。そこで種子小麦の生産地上里町もゆるキャラこむぎつちを利用して日本一に協力したらどうか。

(答) 小麦を使った商品はうどんなだけでなく、つみっこもあるのでは、どんな形でPRしていくか商工会や農協と協議しながら、「埼玉を日本一のうどん県にする会」等との連携を密にしながら検討していく。

4 町の純資産額について

(問) 政府はアベノミクス政策で円安、株高、インフレ基調に経済を立て直し、財政健全化の早期実現を目指しているが、中国経済減速などで厳しい状況となっていて、28年度予算の地方交付税は減額予算である。そこで町の対策として税収以外の収入を増やし、負債が資産を上回らない体質を保つべきである。それには資産と負債額を把握しておき、決算書の付属資料として公表すべきだが。

(答) 総務省からの統一的な基準による地方公会計の整備促進を平成29年度までに行う要請を受けていて、町の資産と負債がどのような状態であるか把握し、公表する必要があるものと考えられる。

一般質問



議席番号
10番 新井 實

問 手話言語条例の制定について

答 児玉郡内の市町との調整を行いつつ、検討していききたい

1 「子育て世代包括支援センター」の設立の必要性について

(問) 女性の妊娠・出産から子育て期間中までの一貫して支援する「子育て世代包括支援センター」設立体制の必要性について。

(答) 上里町では、以前から母子保健事業に関係課を通じて全ての妊婦、乳幼児の状況を把握し、妊娠期から出産、子育て期までの継続的な支援を実施しています。しかし、より切れ目のない支援を実施していく上で、ワンストップ^{※1} 拠点の必要性は認識しています。今後、子育て世代がより安心して生み育てられる子育ての町として、また若い世代が定住できるような支援を目指し、他の自治体の例を参考にしながら、関係課と連携を図りながら「子育て世代包

括支援センター」について研究していきたくと考えています。

※1 カ所で行政サービスを行える窓口

2 手話言語条例の制定について

(問) バリアフリー意識の高まりを受け、首都圏自治体で手話言語と位置づける「手話言語条例」を制定する動きが広まりはじめたことについて。

(答) 現在、上里町では聴覚障害者の方に対する支援として、本庄市や神川町、美里町と共同で手話通訳者の派遣や育成に関する事業を本庄市社会福祉協議会に委託して実施しています。手話を言語と位置づける一連の動きとしては、平成18年に国際連合の総会において、障害者の権利に関する条例が採択され、我が国は、平成26年1月にこれを批准しています。手

3 教科書謝礼問題について

話言語条例の制定に向けては、県内の動向並びに共同事業に取り組んでいる児玉郡内の市町との調整を行いつつ、検討していきたくと考えています。

(問) 小中学校の検定教科書を巡る謝礼問題で文部科学省と埼玉県教育委員会が調査結果を発表したことについて。

(答) 教科書を出版する三省堂などが部外者への開示が禁止されている検定中の教科書を教員らに見せて謝礼を渡していた問題で、文部科学省は1月22日、小中学校用教科書を発行する各社に求めている自己点検結果を発表し、全22社のうち12社が検定中の教科書を教員ら延べ5, 417人に見せ、うち10社が延べ3, 996人に謝礼を渡していたことがわかり

ました。そのうち埼玉県では、167人の名が挙がっておりますが、上里町においても残念ながら2名の教員の名前が挙がっており、今後、県教育委員会から詳細な調査が行われることになっておりますので、その指示に従って対応していきたくと考えています。

4 再生可能エネルギーを利用した発電設備の導入について

(問) 太陽光や風力などの再生可能エネルギーを利用した発電設備の導入が、各地の公立小中学校で進んでいることについて。

(答) 町では、今年度グリーンニューデール事業^{※2} を活用し、上里北中学校に再生可能エネルギーを利用した太陽光発電設備と蓄電池設備を設置し、災害時に地域の避難所になる防災拠点の機能強化に努めて

います。また平成28年度には上里東小学校に太陽光発電設備と蓄電池設備を設置し、災害非難施設の拡充とともに、災害に強く低酸素な地域づくりを進めて行きます。今後については、他の自治体の設置状況を見ながら考えていきます。

※2 再生可能エネルギー等導入基金事業



北中屋上の太陽光パネル

一般質問



議席番号
7 番 植井 敏夫

問 児童館の利用について

答

児童クラブに在籍していなくても、一旦自宅に帰宅後に児童館へきて一般利用者と
して児童クラブ生と遊んだり、児童館事業に参加できる。無料ですので有効活用を。

1 児童館（放課後児童ク ラブ）の利用について

(問) 母親が育休を取った場
合の途中退所について。

(答) 放課後児童クラブは、
放課後の時間帯に保護者が
仕事等のため家にいない、
保育が必要な児童を利用料
を頂いて、預かる事業です。
母親が育児休業の場合、家
に保育する人がいるので入
所の必要条件から外れるこ
とになり、待機児童がいる
児童クラブの場合、空きの
順番を待っている児童が入
所できることとなります。

2 人口減少について

(問) 人口減少の原因として
少子化問題があるが、今後の
対策は。

(答) 少子化が進展してい
る大きな要因は未婚率の上
昇があります。少子化対策
の一環として、結婚したい
人が結婚できる社会をめざ
し、出会いと婚活の支援を
平成 23 年度から児玉郡市
内の関係機関が連携し婚活
パーティーを実施していま
す。また熊谷市以北の 3 市
4 町が協力し、埼玉県北部
地域地方創生推進協議会を
発足させる動きがあり、こ
の中で若者の結婚に関する
希望を叶えるための事業に
も取り組む予定としていま
す。

(問) 高齢者のひとり暮らし
の方が将来に向けて希望を持
つことができるには。

(答) 平成 27 年 6 月現在、
高齢者のひとり暮らしの方
は、706 人。民生委員・

児童委員が月 1 回戸別訪問
をし、安否確認をしていま
す。また、現在 10 カ所の行
政区で行っている「ふれあ
いサロン活動」は地域の公
民館・公会堂などに集い、
相互の交流を通し、孤立感
の解消や仲間づくり、健康
増進などを目的とし実施し
ており、サロンの設置を町
内全域に呼びかけ積極的
に推進したいと考えていま
す。また平成 27 年 9 月から
「介護予防筋力アップ体操」
別名「こむぎっちょちよっく
ら健康体操」も実施。今後
も高齢者の方たちがいつま
でも自分らしく暮らすため
に、また住み慣れた地域で
生活できるような事業の創
出を推進していきたいと考
えています。

3 自然との共生について

(問) こどもを対象にした鮭
の観察学習会を一般にも拡大
できないか。

(答)・教育長 中央公民館
主催の鮭の観察学習会は、
平成 20 年度から生命の神
秘・自然環境を守る大切さ
を学ぶ講座として毎年 11 月
上旬から翌年の 2 月下旬ま
で 4 回開催しています。「サ
ケを育む会」「上里町自然
観察クラブ」「児玉郡市漁
業協同組合」のご支援、ご
協力による講座で平成 26 年
度から全小学校 2 年生を対
象に飼育観察事業を拡大し
ており、また児玉郡市漁業
協同組合から毎年いただく
卵の数に限りがあるため、
一般に拡充することは難し
いと考えます。

しかし各地区公民館・児
童館のような町民が集う場
所に水槽を設置し、各施設
でふ化や成長の過程を一般
の方が自由に観察できる環
境を整え、この貴重な体験
をたくさんの方々に実感し
てもらえるよう、今後工夫
していければと考えていま
す。



鮭の観察学習会

議会日誌

3月

- 4日 3月定例会初日、開会、
町長の施政方針及び行政報告
一般質問
- 7日 一般質問、全員協議会
- 8日 議案審議(条例等、27年度補正予算)
- 9日 議案審議(28年度当初予算)
- 10日 全員協議会
- 11日 全員協議会
- 14日 議案審議(28年度当初予算)
- 15日 中学校卒業式
- 16日 総務経済常任委員会
- 18日 3月定例会最終日、閉会
- 24日 小学校卒業式
- 25日 本庄上里学校給食組合議会
- 27日 乾武マラソン大会
- 29日 児玉郡市広域市町村圏組合議会

4月

- 3日 桜まつり
- 8日 小・中学校入学式
- 20日 議会だより編集委員会

5月

- 2日 臨時会
- 12日 児玉郡町議会議長会総会
- 17日 議会だより編集委員会
- 18日 議会運営委員会
全員協議会
- 19日 商工会総代会

平成28年第3回(6月) 定例会一般質問一覧

順序	議席番号	氏名	質問の要旨
1	10番	新井 實	1 第3子以降の子供を持つ世帯への支援策について
			2 運動会で組み体操の事故が多発していることについて
			3 熊本地震から学ぶ地域防災計画について
			4 首都直下地震の備えについて
2	11番	沓澤幸子	1 防災対策について
			2 字の集会施設の修繕費補助について
3	2番	戸矢隆光	1 上里町の災害に対する対応について
			2 町立保育園について
4	1番	飯塚賢治	1 国土強靱化地域計画の策定について
			2 若者の政策形成過程への参画について
			3 地域で取り組む引きこもりの社会復帰支援について
5	3番	仲井静子	1 デジタル機器のデトックスについて
			2 コミュニティーバスについて

6月定例会を傍聴しませんか

■手続きは簡単です■

定例会は、6月3日(金)に開会の予定です
 なお、一般質問は3日(金)の1日間を予定しています。

●お問い合わせは議会事務局へ
 電話 35-1216(直通)

9月定例会の一般質問は、8月下旬に町ホームページ・フェイスブック等に掲載しますので、ご確認ください。

編集後記

4月3日、「上里町桜まつり」が堤調節池運動公園で開催され、お天気は祭日和にふさわしく晴天で春のそよ風が吹く中で、満開の桜を觀賞したり、日本舞踊やお琴・三味線・尺八の演奏等の舞台芸能発表の見物で場内は大賑わいで、春の一大イベントはまさに人と自然が響きあう「バーモントガーデン上里」でした。
 5月に入り議会16期生も早2年が経過し、各常任委員会は改選期を迎え、議会だより編集委員会も新たに選出された委員で今後2年間運営することになりました。

町民の皆様には、日頃より議会だよりをご愛読頂き感謝申し上げますと同時に、我々編集委員も議会だよりをパッと見た時に、表紙や見出しの内容がさっと頭に入るような読みやすく、わかりやすい簡素な文面を作成していきたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。

議員				副委員長	委員長	議会だより編集委員会
戸矢隆光	齊藤崇	岩田智教	植原育雄	仲井静子	新井實	

